



「い」ちよく豊かに生き延びるために

入場無料

地域循環共生圏 フォーラム 2019

脱炭素・SDGsの実現を岩手から

2019/11/21 THU 13:00→18:00 | いわて県民情報交流センター・アイーナ
アイーナ7F・小田島組☆ほ～る

基調講演 1 「地域循環共生圏を岩手から」 環境省 総合環境政策統括官 中井 徳太郎 氏

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
環境戦略アドバイザー一部チーム環境・社会(ES)ストラテジスト 吉高 まり 氏
慶應義塾大学大学院政策メディア研究科非常勤講師

基調講演 2 「地域循環共生圏を創造するESG投資の潮流とSDGs～地域金融の新たな役割」

NPO法人日本の森バイオマスネットワーク 理事長
青森大学 総合経営学部 教授/青森大学SDGs研究センター 佐々木 豊志 氏
一般社団法人くろこま高原自然学校 代表理事

基調講演 3 「東北の森づくりと人づくりで進む地域循環共生圏」

オープン・ディスカッション(共同討議) 矢巾町 企画財政課 未来戦略室 吉岡 律司 氏、久慈地域エネルギー株式会社 若林 治男 氏、藤原養蜂場 藤原 由美子 氏

主催 | サステナビリティ・フォーラム実行委員会 事務局/NPO法人 環境パートナーシップいわて

共催 | 東北環境パートナーシップオフィス

後援 | 環境省、岩手銀行、岩手大学、岩手県立大学、一般社団法人 岩手県産業資源循環協会、岩手県中小企業家同友会、岩手県環境保全連絡協議会、日本サステナブルコミュニティ協会、フランチ構想ネットワーク ほか (現在依頼、調整中)

詳しくは

「イワテエコ」検索



この事業は、バイオマス利用拡大フォーラムとして、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金の助成を受けて実施しております。

東日本大震災からの復興の途上にある現在、脱炭素社会を一つの柱とした持続可能な地域社会の実現に向けて、具体的で着実に前進する仕組みづくりが求められています。

そのために地域循環共生圏の実現を共通のゴールとした大きなビジョンを共有し、県民はもとより環境団体、事業者、研究者、行政等あらゆる主体の強みを生かして様々な取り組みが展開するよう、このフォーラムを開催いたします。

12:00▶開場 受付開始

13:00▶開会 主催者挨拶

13:05▶13:50

基調講演1 「地域循環共生圏を岩手から」

環境省 総合環境政策統括官 **中井 徳太郎** 氏

13:55▶14:40

基調講演2 「地域循環共生圏を創造するESG投資の潮流とSDGs～地域金融の新たな役割」

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社環境戦略アドバイザー一部
チーフ環境・社会(ES)ストラテジスト/
慶應義塾大学大学院政策メディア研究科非常勤講師 **吉高 まり** 氏

休憩

14:50▶15:35

基調講演3 「東北の森づくりと人づくりで進む地域循環共生圏」

NPO法人日本の森バイオマスネットワーク 理事長、青森大学 総合経営学部教授/
青森大学SDGs研究センター、一般社団法人くりこま高原自然学校 代表理事
盛岡市出身 **佐々木 豊志** 氏

展示・交流タイム40分 名刺交換、講師との質疑

16:15▶18:00

オープン・ディスカッション

ディスカッション。アドバイザーとして3人の講演者から助言を得ます。

- 県内事例1 矢巾町のフューチャー・デザイン「将来世代が参加する持続可能なまちづくり」
矢巾町 企画財政課 未来戦略室 **吉岡 律司** 氏
- 県内事例2 久慈でのエネルギーの地産地消の取り組み
「エネルギー地産地消による地域活性化を目指して」
久慈地域エネルギー株式会社 **若林 治男** 氏
- 県内事例3 生物多様性「在来種ニホンミツバチに持続可能性を学ぶ」
担当者：櫻井、佐々木
藤原養蜂場 **藤原由美子** 氏

お問い合わせ先

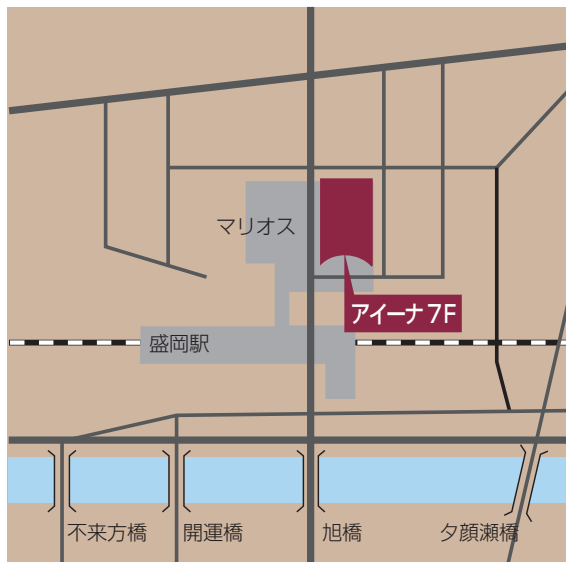
サステナビリティ・フォーラム実行委員会事務局
NPO法人 環境パートナーシップいわて
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1
いわて県民情報交流センター・アイーナ5F
Tel:019-681-1904/Fax:019-681-1906
担当者：櫻井、佐々木
E-mail:eco.iwate@gmail.com

お申し込みはこちら



ポータルサイト
「イワテエコ」
<http://goo.gl/AM5S3C> から
お申し込みください。
当日参加もできます。

イワテエコ



講師プロフィール



環境省 総合環境政策統括官

中井 徳太郎 氏
[なかい とくたろう]

1962年生まれ。東京大学法学部卒業。85年大蔵省入省。主計局主査(農林水産係)などを経て、99年から2002年まで富山県へ出向。生活環境部長などを務め、日本海学の確立・普及に携わる。02年財務省広報室長。04年東京大学医科学研究所教授。09年財務省理財局計画官。10年財務省主計局主計官(農林水産省担当)。東日本大震災後の11年7月の異動で環境省に。総合環境政策局総務課長、大臣官房会計課長、大臣官房秘書課長、大臣官房審議官(総合環境政策局担当)、大臣官房審議官(総括担当)、廃棄物・リサイクル対策部長を経て、2017年7月より現職。



三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社環境戦略アドバイザー一部チーフ
環境社会(ES)ストラテジスト/慶應義塾大学大学院政策メディア研究科非常勤講師

吉高 まり 氏
[よしとか まり]

IT企業、投資銀行勤務の後、世銀グループ国際金融公社環境技術部、国内初エコファンド立ち上げに参与。米国ミシガン大学自然資源環境大学院科学修士号取得。2000年クリーン・エネルギー・ファイナンス部(現 環境戦略アドバイザー一部)立ち上げのため三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社入社。途上国および国内のCO2削減や適応ビジネス等気候変動分野を中心とした環境金融コンサルティング業務に従事。現在ESG投資の領域について調査・アドバイス・講演等を実施。慶應義塾大学大学院政策メディア研究科非常勤講師(環境ビジネス・デザイン論担当)、関西学院大学人間福祉学部非常勤講師、日本UNEP協会理事。環境省中央環境審議会地球環境部会臨時委員。



NPO法人日本の森バイオマスネットワーク 理事長、青森大学 総合経営学部 教授
青森大学SDGs研究センター
一般社団法人くりこま高原自然学校 代表理事

佐々木 豊志 氏
[ささき とよし]

96年私費を投じて「くりこま高原自然学校」を設立。冒険教育を柱に青少年のために野外教育・環境教育を提供している。不登校・ニート・引きこもりを受け入れる長期寄宿制度を併設。03年にNPO法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所を設立し、農的な暮らしを基本に自然と共生し持続可能な豊かな暮らしを創造する[人]と[社会]づくりの実践の場づくりに取り組む。08年岩手宮城内陸地震で被災し、11年東日本大震災では直後から災害支援活動を行う。17年4月から青森大学総合経営学部教授として赴任し、これまでの活動を統合しSDGsをベースに活動を広げている。